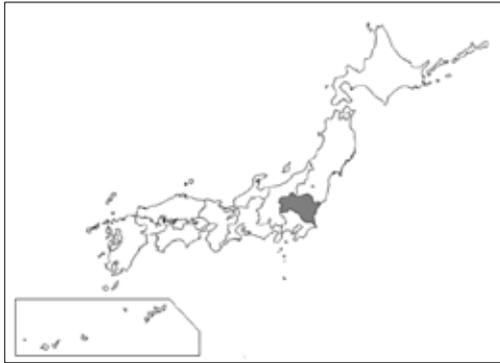


(3) 北 関 東



北関東地域では、景気は緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(_は上方に変更、 _は下方に変更)

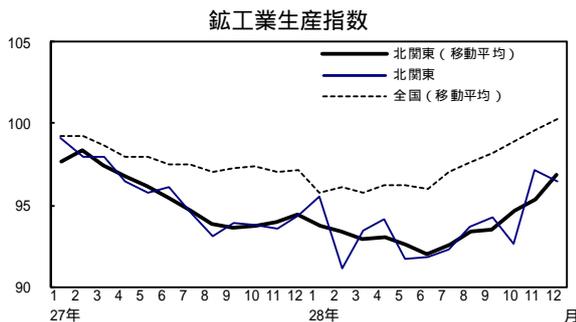
前回調査からの主要変更点

	前回(平成28年11月)	今回(平成29年2月)	
景況判断	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調	緩やかな回復基調	
鉱工業生産	おおむね横ばい	持ち直しの動き	
個人消費	持ち直しの動きが続いているものの、足踏み	持ち直しの動き	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。

10~12月期には、石油・石炭製品、化学、プラ製品は増加した。電子デバ、電気・情報通信もスマートフォン向け部品関連を中心に増加した。輸送機械も好調な北米向け輸出等を背景に増加した。汎・生産・業務用機械は国内外の設備投資需要を背景に増加した。鉄鋼業、非鉄金属、金属製品も自動車向け鋼板を中心に増加した。



- (備考) 1. 22年=100、季節調整値、最新月は速報値。
 2. 全国及び北関東の大線は中心3か月移動平均、直近月は2か月平均。
 3. 北関東は内閣府にて算出。

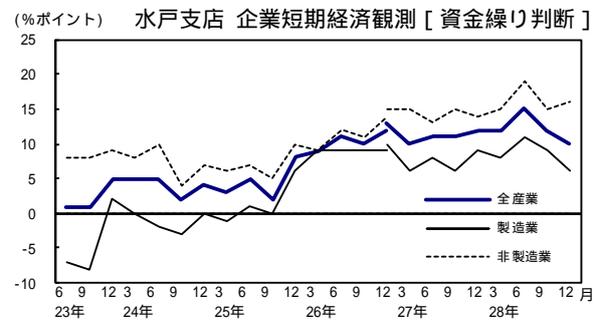
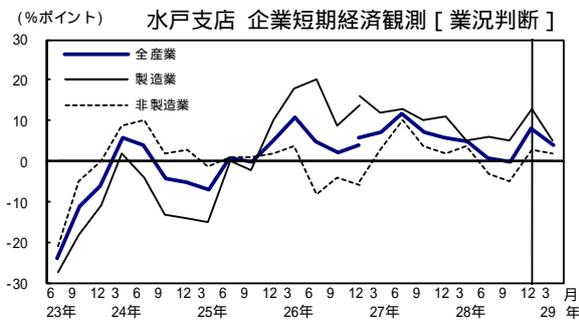
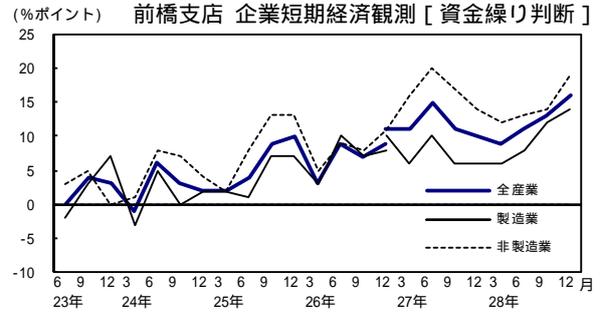
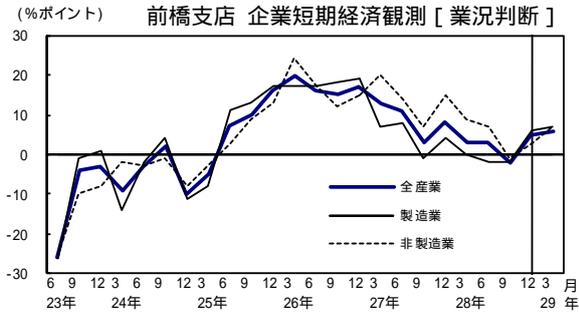
域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値ウェイト	生産				
		7~9月期	10~12月期	10月	11月	12月
石油・石炭、化学、プラ製品	19.7	1.6	1.8	0.7	1.1	4.4
電子デバ、電気、情報通信	19.5	2.7	1.5	2.1	5.7	1.2
輸送機械	18.4	0.2	3.6	6.3	11.4	2.1
汎・生産・業務用機械	16.0	1.1	4.9	1.5	8.1	6.6
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	12.9	0.5	0.9	0.8	2.5	2.3
鉱工業	100.0	1.0	2.1	1.8	5.0	0.8

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
 2. 10~12月期、12月は速報値。速報値において化学は医薬品を除いたもの。

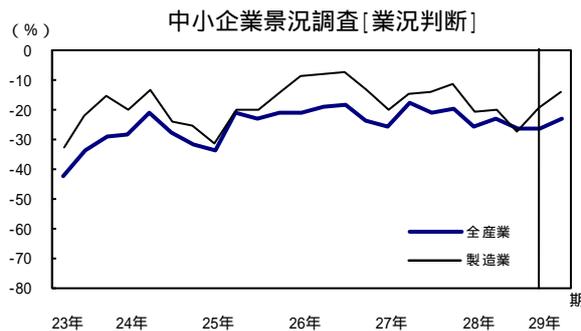
- (2) 前橋支店の企業動向の業況判断は「良い」超に転じており、資金繰り判断は「楽である」超幅が拡大している。
水戸支店の企業動向の業況判断は「良い」超に転じており、資金繰り判断は「楽である」超幅が縮小している。

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。29年3月は予測。
26年12月は新・旧基準を併記。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
26年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。29年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(1月調査結果)[企業動向関連(現状)]

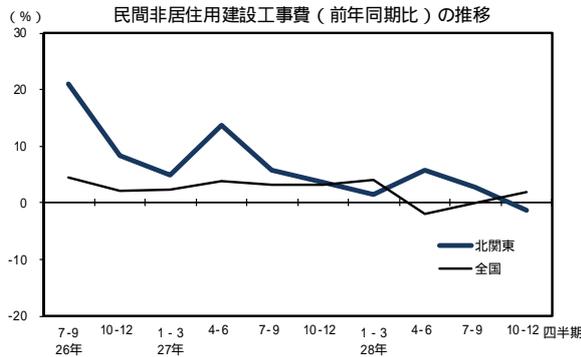
「3か月前に比べ、安定した仕事を確保できるようになっている(電気機械器具製造業)」等の回答がみられた。

(3) 北関東

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は減少している。

企業短期経済観測調査 [設備投資(12月調査)]

(前年度比、%)



	27年度実績	28年度価
全産業		
前橋支店	2.4	14.1 (5.9)
水戸事務所	2.8	14.0 (2.4)
製造業		
前橋支店	1.6	25.2 (3.4)
水戸事務所	4.2	30.4 (3.6)
非製造業		
前橋支店	11.4	13.9 (16.0)
水戸事務所	1.5	2.0 (0.8)

(備考) ()は前回(9月)調査比修正率。

2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直しの動きがみられる。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

10月は前月比0.6%減、11月は同0.1%増、12月は同0.3%増となった。

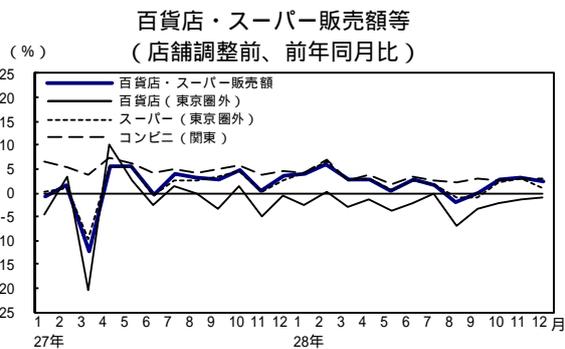
百貨店・スーパー販売額

百貨店は、10月は秋冬物の衣料品や、家庭用品、飲食料品の動き等が鈍かったこと等から、前年を下回った。11月は休日数が1日少ないこともあり、衣料品、飲食料品、家庭用品の動き等が不調だったこと等から、前年を下回った。12月も衣料品、飲食料品の動き等が不調だったこと等から、前年を下回った。

スーパーは、飲食料品の動き等が好調だったことから、前年を上回った。

景気ウォッチャー調査(1月調査結果)[家計動向関連(現状)]

「今月は近年にないほど悪い。新年会等も少なく、タクシーを利用する人がいない(タクシー運転手)」等「悪くなっている」とする回答が増加した。



	28年10-12月	28年10月	11月	12月
RDEI (消費*1)	0.1	0.6	0.1	0.3
百貨店・スーパー(*2)	2.8	2.7	3.2	2.5
百貨店(*3)	1.5	2.0	1.5	1.0
スーパー(*3)	2.0	2.2	3.1	0.9
コンビニ(*3)	2.8	2.7	2.8	3.0
乗用車(*4)	1.2	9.1	5.4	8.0
(季節調整値)(*4)	4.5	1.1	3.4	3.7

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同(月)期比

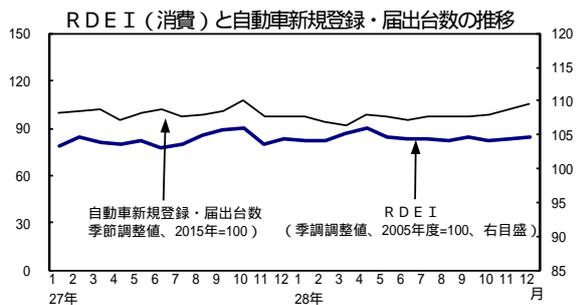
百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

3. 店舗調整前、前年同(月)期比

・百貨店、スーパーは、関東経済産業局の東京圏外(茨城、栃木、群馬、新潟、山梨、長野、静岡)の値。

・コンビニは、経済産業省の関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡)の値。

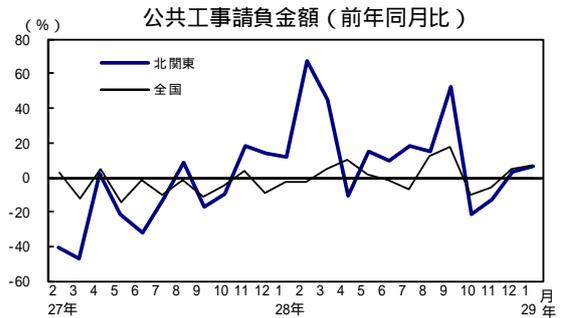
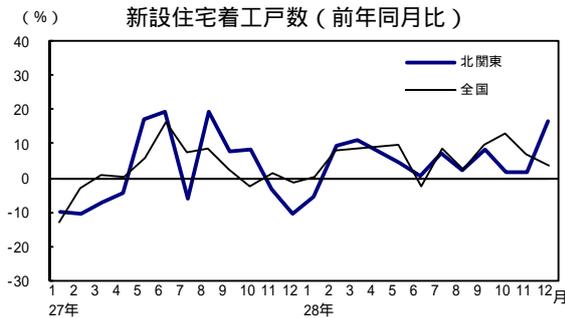
4. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



(2) 住宅建設は増加している。

持家、貸家、分譲いずれも前年を上回ったことから、全体では増加している。

(3) 公共投資は28年度累計で見ると前年度を上回っている。

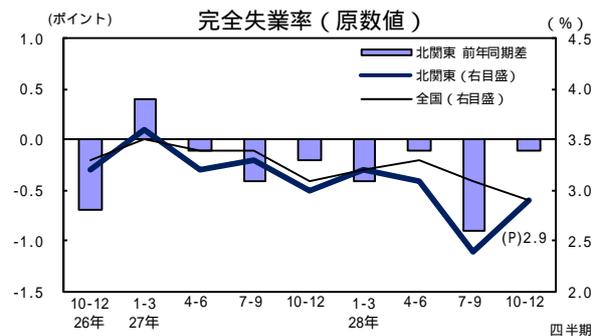
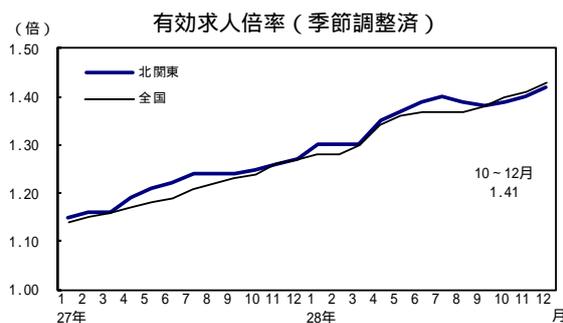


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。



(備考) 1. 北関東は内閣府にて算出。
2. 10-12月期の値は暫定値。

景気ウォッチャー調査 (1月調査結果)[雇用関連 (現状)]

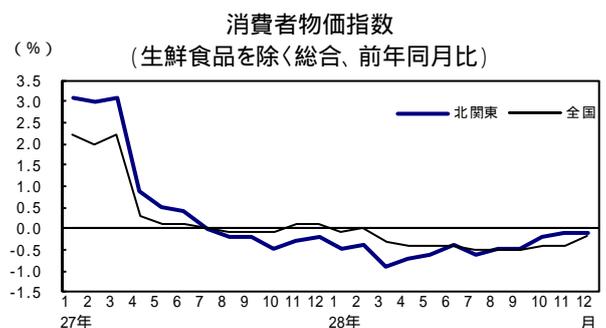
「今月第3週より、徐々に問い合わせ等が増加しており、既存の求人に対するマッチング率が向上してきている。職場見学の機会も月末に向け増えている。今後は3月に期間終了を予定している人材も2月にかけて、動き始めるとみている (人材派遣会社)」等の回答がみられた。

(2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに増加している。

(3) 消費者物価指数は前年比の下落幅が縮小している。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	28年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	29年1月
倒産件数	98	93	77	95	33
(前年比)	13.3	14.8	22.2	13.1	10.8
負債総額	224	205	121	183	81
(前年比)	45.6	65.9	38.1	93.8	6.0



(備考) 北関東は内閣府にて算出。

(3) 北関東

景気ウォッチャー調査(1月調査結果)[合計(特徴的な判断理由)]

<現状>

- ・今月の来客数は前年から5%ほどプラスである。厳冬で客の出足が悪いのではないかと心配していたが、何とか持ちこたえている。衣料品は相変わらず厳しいが、雑貨や食料品の売上は堅調なもの、雪が一度でも降ったり、あるいは降りそうだとすると、過剰な報道により来客数、売上に大きく影響が出るので、油断はできない(百貨店)。

<先行き>

- ・リニア新幹線のトンネル建設工事が始まり、その効果が少しずつ現れてくるのではないかと(出版・印刷・同関連産業)。

景気ウォッチャー調査(季節調整値)

